

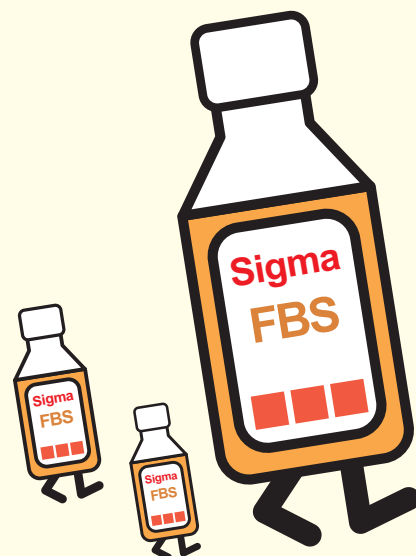
細胞培養用血清の ご用命はニチレイへ!!



SIGMA[®]
Life Science

172012-500ML 牛胎児血清 (FBS) SA

Sigma[®]ブランド牛胎児血清 (FBS) を発売いたします。
これまでご好評いただいております弊社のCCB
ブランド牛胎児血清と同様、広い研究用途にご使用
いただける仕様になっております。



信頼の高品質

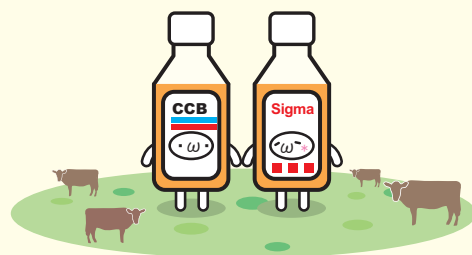
- ◆ 従来のCCBブランドと、原料選定基準・製造工程・品質試験内容は変わりません。
- ◆ CCBブランドと同規格の品質試験に加え、テトラサイクリン試験を行っております。

豊富なロット数

- ◆ 購入予定数量 500mLX10本よりロットチェック用サンプルのご提供が可能です。

◆ 次の項目を含む品質試験を、全ロットに対して行っております。

- ウイルス試験 (9CFRに準拠)
- ウシIgG濃度
- エンドトキシン濃度 ≤ 100.0 EU/mL
- ヘモグロビン濃度 ≤ 25 mg/dL
- マイコプラズマ否定試験
- テトラサイクリン試験
- 無菌試験



また、原産国および全ての品質試験の結果が記載された、ロット毎に発行される「試験成績書」のご提供が可能です。

ニチレイバイオサイエンス社における血清事業の歴史

- 1982年 血清事業に参入
- 1993年 JRH Biosciences 社の血清販売開始
- 2006年 Sigma-Aldrich® 社による JRH Biosciences 社の買収により SAFC Biosciences 社代理店となる
- 2007年 CCB ブランド FBS の販売開始
- 2011年 シグマ アルドリッチ ジャパン社と FBS 販売事業を統合

CCB ブランド FBS と同様、高品質の研究用 FBS (172012) の販売開始



CCB ブランド FBS

血清 Q&A

Q1: 血清はどのように融解すればよいですか？

A1: 次の手順で融解してください。

- 1: フリーザーから血清ボトルを取り出し、室温に10分置く。
- 2: あらかじめ30~37℃に調整したウォーターバスに血清ボトルを入れる。
- 3: 10~15分毎にボトルを軽く振り、血清の温度を均一に保ちながら血清を完全に融解させる。

Q2: 血清を融解すると沈殿ができました。この血清は使用できますか？

A2: はい、使用して問題ありません。

融解後にしばしば見られる沈殿物は、塩類、タンパク質、脂質の複合体で、細胞にとって有害な物質ではありません。

なお、Q1の方法で血清を融解させることで沈殿物の生成を低減させることが可能です。

Q3: 融解した血清はどのように保存すればよいですか？

A3: 融解後の血清はできるだけ早くご使用いただくことをお勧めいたしますが、融解後2~8℃で4週間程度保存することが可能です。

すぐに使い切れない場合は、凍結融解の繰り返しを避けるため、一度融解した血清をすぐに小分けして凍結保存することをお勧めいたします。

研究用牛胎児血清 (FBS)

品名	コード	包装	価格(円)	保存温度
CCB ブランド 牛胎児血清 (FBS) 注1	171012-100ML	100mL	注2	-10~-40℃
	171012-500ML	500mL		
牛胎児血清 (FBS) SA 注1	172012-500ML	500mL		

注1: 原産国については弊社へお問合せください。

注2: 価格については弊社にお問合せください。

特殊処理済み牛胎児血清や新生児牛血清等についてはカタログ、または弊社ホームページをご参照ください。

ロットチェック用サンプルのご依頼・各種お問合せ先
TEL 03-3248-2207 FAX 03-3248-2243

株式会社ニチレイバイオサイエンス

本社・学術問合せ 〒104-8402 東京都中央区築地6-19-20 TEL . 03 (3248) 2207 FAX . 03 (3248) 2243
関西支所 〒530-0043 大阪市北区天満1-3-21 TEL . 06 (6357) 2128 FAX . 06 (6357) 2330
ホームページ <http://www.nichirei.co.jp/bio/>